

営業収益・・・各事業ともトップラインを順調に伸ばし、188億円(前年同期比2.5%増)。
 営業費用・・・営業債権残高の増加や弁護士介入債権の増加などにより貸倒引当金繰入額が増加し、165億円(同2.6%増)。
 営業利益・・・22億円(同1.7%増)。 経常利益・・・23億円(同0.9%増)。 親会社株主に帰属する四半期純利益・・・9億円(同58.5%減)。

1. 要約損益計算書

(単位: 億円)		FY2017			FY2018			FY2018業績予想*		
		1Q	1Q	前年同期比	1Q	1Q	前年同期比	2Q累計	進捗率	
営業収益	1	184	188	2.5%	372	50.8%	765			
営業費用	2	161	165	2.6%						
販売費及び一般管理費	3	155	159	2.7%						
人件費・物件費等	4	128	124	-2.5%						
クレジットコスト	5	27	34	27.5%						
貸倒引当金繰入額	6	27	34	27.5%						
利息返還損失引当金繰入額	7	-	-	-						
金融費用	8	6	6	1.0%						
営業利益	9	22	22	1.7%	40	57.5%	118			
経常利益	10	22	23	0.9%	40	57.8%	118			
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	21	9	-58.5%	25	36.4%	100			

*2018年5月11日公表

グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リーナなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する

【ショッピングクレジット】

・同じ新生銀行グループの昭和リースとの協業により、ベンダーリース、個人向けオートリースの営業活動を強化。
 【カード】

・TSUTAYAフランチャイズ店との連携強化や、その他提携先との提携カードの獲得強化。

【ローン(ハウジング含む)】

・中古住宅の買取り&リフォーム資金を融資する「ARUHI 買取再販ローン」、個人のお客さまが住宅を購入する際に必要な諸費用等を融資するローン商品を推進。

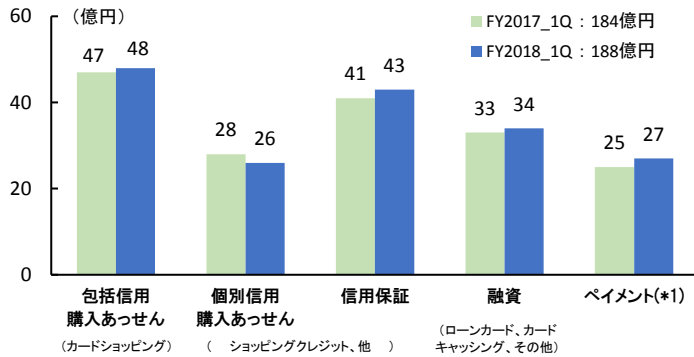
【ペイメント】

・中国人向けモバイル決済サービス「WeChat Pay」国内利用店舗を1,242社、10,011店まで拡大(平成30年6月末日現在)。

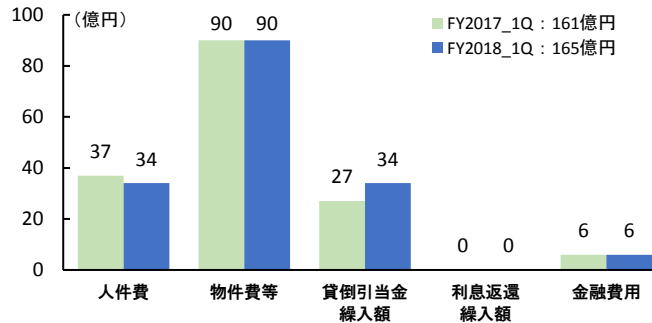
・「海外プリペイドカード GAICA(Flex機能付き)」に「オートチャージ機能」と「毎月定額チャージ機能」を追加し、利便性が向上。

2. 部門別営業収益

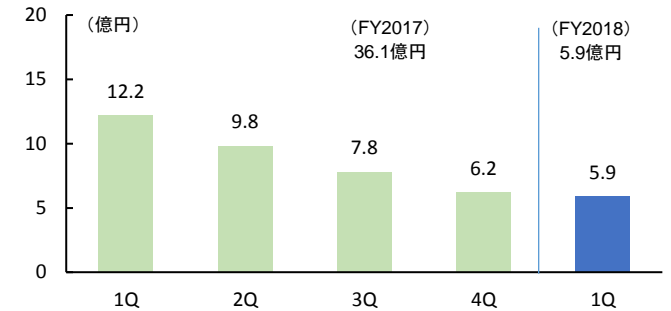
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

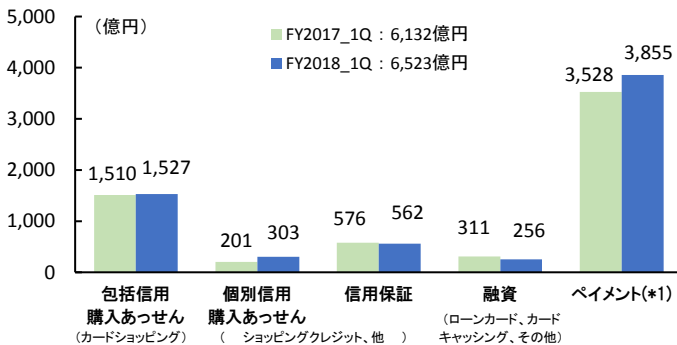


4. 利息返還実績四半期推移



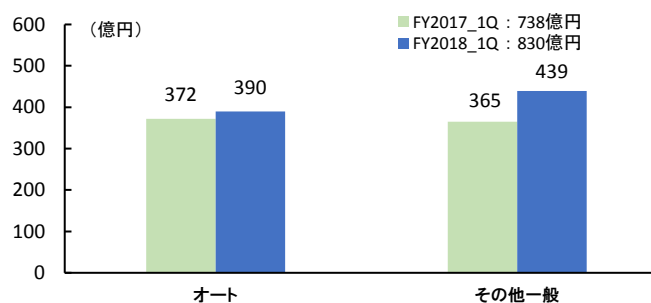
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない

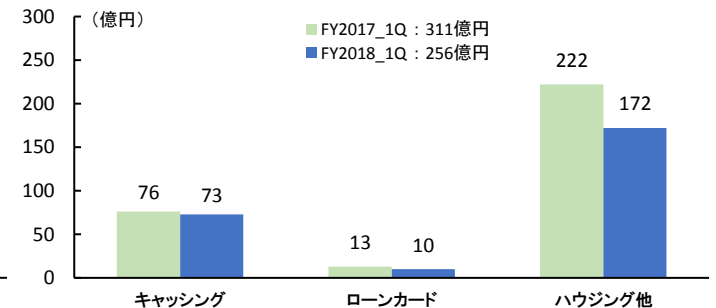


6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳



(*1) ペイメント・・・集金代行(コンビニ、口振)、家賃保証、プリペイドカード、WeChat Pay など